

夢

夢には、二種類ある。

その実現によって、その人だけが達成感を得られる夢。

その実現によって、その人の周囲に希望を与える夢。

「夢は世界チャンピオン」と小学校の卒業文集に書いた錦織圭選手(24歳)。テニスの全米オープン男子シングルスでの準優勝は、日本のみならず、世界中に希望を与えてくれた。私のように、テニスに関心のなかった人々まで元気にする、久々の明るい話題であった。

私が授業を担当したある生徒は、20年近く勤務医として働いた後、今春、県北のある町で開業した。開業に際して、地域のために何かもっと貢献できることはないかと考え、病気の子供を預かる施設も併設した。採算性は度外視しているようだ。どうしても休めない仕事を抱えている親には、大変ありがたい施設である。

小さな商店街に生まれ、そこの人々に育ててもらった(比喻ではなくて)ある生徒は、商店街のために頑張りたいと大学で経営学を専攻した。卒業後は地元を舞台にした映画制作などの様々な町興しに挑戦し、地域に元気を与えている。

本荘高校端艇部は女子舵手付きクオドルプルで、今夏インターハイ準優勝に輝いた。優勝を目指して力と技を磨いてきた選手たちの夢の実現は、1,000メートルのコースで、1位と0.9秒の僅差で、あと一步届かなかった。しかし、地域住民に与えた希望は、錦織選手に優るとも劣らない。

錦織選手や卒業生達、そして端艇部の挑戦はまだ続く。夢への挑戦は新たな夢を生む。それが、人々により大きな希望を与えることになる。

皆さんの夢が、人々に希望を与える夢であることを期待し、次の言葉をおくる。

What are you here for?

